

検査のパレット

今回は **AICS (アミノインデックスがんリスクスクリーニング)** についてお話しします。

●AICS とは??

人のからだを構成しているタンパク質は 20 種類のアミノ酸から作られており、健常者の血液中のアミノ酸濃度はそれぞれ一定になるようにコントロールされています。AICS は、血漿中のアミノ酸を測定し、健常者とがん患者のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんであるリスクを評価する新しい検査法です。AICS はこれまでの腫瘍マーカーと異なり、5 ml の採血で複数のがんそれぞれに対するがんリスクを一度に判定することが可能で、早期がんも対象となっており、**スクリーニングマーカー**として有用性が高いと考えられます。

●AICS の解析対象となるがん種

解析対象は男性が 4 種、女性が 5 種と 2 種があります。健康保険適応外の検査のため、男性 4 種と女性 5 種は 18000 円、女性 2 種は 8000 円かかります。

男性 4 種	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん		
女性 5 種	胃がん	肺がん	大腸がん		乳がん	子宮がん・卵巣がん
女性 2 種					乳がん	子宮がん・卵巣がん

●AICS の各検査項目の特徴

AICS (胃)	ステージ I 期、II 期の胃がんに対する高い感度 ペプシノゲン検査で検出が難しい組織型（低分化腺癌、印鑑細胞癌）でも同等または高い感度
AICS (肺)	ステージ I 期、II 期の肺がんに対する高い感度 幅広い組織型の肺がんでも同等の感度
AICS (大腸)	ステージ 0 期、I 期、II 期の大腸がんに対する高い感度 大腸ポリープに対する低い陽性率
AICS (前立腺)	ステージ B 期の前立腺がんに対する高い感度 PSA グレーゾーン (4-10 mg/mL) の前立腺がん患者に対する高い感度
AICS (乳腺)	ステージ 0 期、I 期、II 期の乳がんに対する高い感度
AICS (子宮・卵巣)	子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかに罹患しているがんリスクを予想可能（ただし、それぞれのがんについてのリスクは鑑別できません） ステージ I 期、II 期の子宮頸がん、子宮たいがん、卵巣がんに対する高い感度 子宮頸がんの腺癌でも同等または高い感度、および幅広い組織型の子宮体がん、卵巣がんでも同等の感度

●AICS 検査の注意事項 (重要!!!)

①AICS の対象は、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がんは 25 歳～90 歳、前立腺がんは 40 歳～90 歳、子宮がん・卵巣がんは 20 歳～80 歳の日本人（妊娠されている方を除く）です。

②AICS の採血上の注意点

- 1) 食事後 8 時間以上あけて、午前中の採血厳守。
- 2) 検査前 8 時間以内にアミノ酸含有のサプリメントやスポーツ飲料、アミノ酸製剤、牛乳・ジュースなどを摂取した場合は検査不可。
- 3) 妊婦さんは検査不可。

※ なお準備が出来次第、再度お知らせを配布させていただきます。

ご質問等ありましたら、検査室までお願いいたします。

文責：藤井 亜依 監修：石竹 久仁